

「高崎プライド」 ～心と形を整える～

令和2年5月18日（月） NO5 文責 木下 文秋

失った日を取り戻そう

5月25日（月）から学校が再開される見通しが発表されました。今週はその準備期間として一斉登校が開始されます。3月2日に始まった臨時休業は、コロナの感染に振り回され再三延長、5月半ばを迎えることになりました。これで本当の学校再開となるかどうかは不透明です。5月14日に全国39県で緊急事態宣言が解除されましたが、本当に解除して大丈夫なのかと思われる方はたくさんいると思います。しかし、飲食業やサービス業をはじめ多くの国民が自粛を強いられ日々の生活に困窮しています。経済も回さなければならぬし、学校だって再開しなければ教育を保障出来ません。緊急事態宣言が解除されれば当然、人の移動が始まります。飛行機や新幹線、JRなどを使って人の往来があり宮崎にも他県から多くの人が来るでしょう。コロナ対策は今からが正念場ではないかと考えます。移動制限がなくなり、蒸し暑い中マスクの着用ができるか。難しい対応を求められます。教育現場でも多くの学習時間やスポーツイベントがなくなりました。本当であれば多くの生徒は今頃真っ黒に日焼けし、6月の地区大会に向けて必死になって部活動を頑張っている時期です。また、学校行事でも職場体験学習に向けての準備や生徒総会等についても着々と話し合いを進めているはずです。これまでの先輩たちが経験してきた思いを、臨時休業のせいで、皆さんだけが経験できないというのはあまりにも残念です。失った日を取り戻さなければなりません。そのためには、これから取り組む行事の全ての準備や話し合いに思いを乗せるということが大事です。

熱を込めよう

気持ちが入らず熱量のない日々を過ごすことは避けたいものです。一日2時間程度の部活動に一所懸命取り組む。3時間の練習が2時間に減っても集中すれば同じ量の練習はできます。日々の学習に必死で取り組む。分からないことは先生に質問する。分からないことは恥ではありません。そして、友達との何気ない会話に幸せを感じる。これまでの当たり前を、今幸せに感じましょう。こういった繰り返しをすることで失った日を取り返せると思います。そして何より大事なことです。それは自分自身が感染しないこと、そしてコロナを甘く見ないことです。